

令和5年度

第7回 真壁地区学校統合準備委員会 総務分科会 議事概要

日 時：令和6年2月2日（金）

場 所：真壁伝承館 会議室1

(1) 制服の選定について

■制服デザインの候補



※生地の色、風合いは各校の展示会のとおりとなっています。

■エンブレムデザインの候補

① たて5.1×よこ4.2 (cm)



② たて5.2×よこ4.2 (cm)



③ たて4.1×よこ3.5 (cm)



④ たて5.3×よこ4.5 (cm)



■展示会及び投票の実施

学校で投票を行い、結果を基に制服のデザインを決定する。

【投票項目】

- ①制服のデザイン（4つの候補から1つ選択する。）
- ②エンブレムデザイン（4つの候補から1つ選択する。）

【日程】

	展示期間	投票日
樺穂小	2/13（火）～2/16（金）	2/16（金） 学年末 PTA
桃山学園	2/19（月）～2/22（木）	2/22（木） 授業参観
谷貝小	2/27（火）～3/1（金）	3/1（金） 授業参観

【投票の流れ】

- ①児童が展示期間に制服を確認する。
 - ②保護者に意見を伝える。
 - ③投票日に、児童の意見を加味して保護者が投票を行う。
- ※令和5年度に5年生以下の児童がいる家庭が投票の対象になります。
（新しい制服は令和7年度の後期課程7年生から導入するため。）
- ※投票は各家庭で合計1票になります。
（例）現在5年生と2年生の児童がいる場合でも、各家庭で1票とします。
- ※投票は、各学校の投票日に保護者のみが行うことができます。

【意見交換（投票について）】

- ・対象者を制限する理由はなにか。
⇒新しい制服は令和7年度から導入するため、実際に着用する令和7年度の後期課程7年生以下の家庭の意見を取り入れるため。
※令和7年度の8、9年生も、任意で新しい制服を購入することを可能とする。
- ・投票日に保護者が来校できない場合、児童が投票することも可能か。
⇒1家庭1票を管理する必要があるため、投票は保護者のみ行えることとする。
- ・投票日に保護者が来校できない場合、別日に投票を行うことはできるか。
⇒子供が通っている学校の投票日のみとする。
- ・低学年は制服の希望を保護者に伝えることが難しいのではないか。
⇒希望する制服の写真に○をつけるなど、保護者に意見を伝える用紙を配布する。

【意見交換（エンブレムについて）】

・襟章と胸ワッペンの両方のデザイン案を示した場合、候補が多くなってしまい選びきれないのではないか。

⇒エンブレムの種類については、分科会でどちらかに決めることとする。

・ジャケットに名札はつけるか。

⇒名札はあった方がいい。

・名札はジャケットに縫い付けるか。

⇒クリップでとめる想定をしている。

・エンブレムは名札の邪魔にならないか。

⇒襟章、胸ワッペンのどちらを採用した場合でも名札とは重ならない。

・ジャケットの腕部分にエンブレムを付けている制服はあるか。

・中学校制服での事例はごく稀である。

◎エンブレムは胸ワッペンとする。

名札イメージ（制服提案書より）

生徒様の安全を守るポイント!



しまえる名札吊りテープ

制服に傷をつけることなく、
使用しない時はポケットの中に入れてプライバシーを守ります。

※実際に採用される名札はこの限りではありません。

■夏服について

【意見交換】

・夏服とは、具体的に何を示しているか。

⇒半袖ポロシャツ、夏用スカート、夏用スラックスを示している。

・夏の時期に、気温に合わせて長袖のワイシャツを着ることを認めているか。

⇒認めている。

・夏の時期に体操服で過ごしている場合、上着は自由なものを認めているか。

⇒現在は体操服の長袖ジャージを着ている。

・ポロシャツは体操服に比べて過ごしやすくなりそう。

【方針】

ポロシャツ、夏用スカート、夏用スラックスを作成し、任意で着用可能とする。

※ポロシャツを学校指定品とするかについて、今後協議を行う。

(2) 校章デザインの公募結果について

■公募結果

応募総数：217件

(3) 校章デザイン審査要項（案）について

候補作品から総務分科会で3作品を選定し、桜川市教育委員会に推薦する。

詳細は会議資料P.11～12のとおり。

(4) その他

■学童について

令和7年度以降は現在の桃山学園の校舎を利用することとする。

※谷貝小学校、樺穂小学校の校舎は廃校となり昼間に人がいなくなるとから、防犯上の問題もあるため利用しない。

■校歌について

歌詞の一部を変更する。

変換前：中学校

↓

変更後：学び舎は

三	二	一	桃山中学校校歌
朝日の昇る 若き春 胸には燃ゆる 勤労と 協和と自治と 礼節に 明るき道を 踏みゆかん われらの理想 この光	松らい清く 奏でつつ 紫匂う 文化の地 豊けき郷の 桜川 真理の泉 ここに汲む われらの希望 この力	筑波の麓 桃山に 輝き立てる 中学校 遥かに富士を 望みつつ 関東平野 見はるかす われらの母校 この誇り	作曲 岩井 清志 作詞 白鳥 省吾

■通学バッグの校章プリントについて

【意見交換】

- ・バッグのどの箇所にプリントされるか。
⇒右の図のとおり。
- ・プリントは剥がせるか。
⇒耐久性がある手法のため剥がすことは難しい。
- ・金額は変わるか。
⇒500円ほど価格が上がる。
- ・現在使用している通学バッグよりも高額になるか。
⇒カバン自体も、プリントを加えた場合も同額となる。
- ・他校と接する場では校章があった方が良い。
⇒修学旅行などでも通学バッグを持っていくことはないため、サブバッグにプリントしてはどうか。
- ・校章が入っていなければ、中学卒業後も使うことができる。

◎通学バッグに校章プリントは入れないこととする。

※サブバックには校章を入れることとする。



第7回 真壁地区学校統合準備委員会 総務分科会 次第

日時：令和6年2月2日（金）

午後7時00分より

場所：真壁伝承館 第1会議室

1 開 会

2 分科会長あいさつ

3 協議事項

- (1) 制服の選定について
- (2) 校章デザインの公募結果について
- (3) 校章デザイン審査要項（案）について
- (4) その他

4 閉 会

(1) 制服の選定について

①制服選定に係る事業実施者

名 称：ママダスクールソリューションサービス株式会社

所在地：茨城県筑西市横島230番地

②制服の着用にかかる留意点

【制服の導入について】

- ・新制服は令和7年度新入生からの導入とする。
- ・令和7年度以降も現在の桜川中、桃山学園の制服の着用を認める。
- ・新制服への切り替えの期限は設けない。
- ・令和7年度の在校生も希望があれば新制服の着用を認める。

【制服着用のルールについて】

- ・性別に関わらず、スラックスタイプ、スカートタイプ、ネクタイ、リボン等、いずれの組み合わせでも着用を認める。(ブレザーは男女兼用となります。)
- ・夏服(ポロシャツ、夏用スラックス・スカート)については、各家庭の判断で着用(購入)いただくことを想定。

③今後のスケジュール(案)

制服決定までのスケジュールとして、2つの案がある。いずれの場合でも、3/20までに素材の発注を行う必要がある。

【提案書の制服】



【提案書のデザインから選定する場合】

提案書のデザインを基に選択

期間	内容	備考
1/22～2/1	制服デザイン変更に関するアンケート	対象：総務分科会
2/2	制服デザインの確認	第7回総務分科会
2/13～2/16	展示会及び投票（樺穂・2/16 学年末 PTA）	児童・保護者対象
2/19～2/22	展示会及び投票（桃山・2/22 授業参観）	
2/27～3/1	展示会及び投票（谷貝・3/1 授業参観）	
3/15	制服デザイン決定	第8回総務分科会

※メリット：学校の集まりの時、保護者が実際に制服を見ることができる。

※デメリット：スケジュール上、制服の修正に対応できない。

【提案書のデザインを変更する場合】

3 サンプルから選択（提案書2 サンプル+アンケートを基に修正した1 サンプル）

期間	内容	備考
1/22～2/1	制服デザイン変更に関するアンケート	対象：総務分科会
2/2	変更点の確認及び修正サンプル作成開始	第7回総務分科会
3/1	修正サンプルの完成（提案書含め3案程度）	
3/4～3/8	展示会（樺穂） 展示会（桃山） 展示会（谷貝）	児童対象
3/11～3/14	展示会（市役所真壁庁舎） オンライン上で写真を基に投票	保護者対象
3/15	制服デザイン決定	第8回総務分科会

※メリット：制服の修正に対応することができる。

※デメリット：保護者が実際に制服を見ることができるかどうか不明。

※総務分科会委員に、上記の選定方法について事前にアンケート調査を行ったところ、【提案書のデザインから決定する場合】と回答した方が多かったので、**提案書のデザインから決定します。**

⑤展示会について

- ・2/13～2/16 樺穂小学校（2/16 学年末 PTA）
- ・2/19～2/22 桃山学園（2/22 授業参観）
- ・2/27～3/1 谷貝小学校（3/1 授業参観）

【展示会での評価項目について】

- (1)デザイン (タイプ1 or タイプ2)
- (2)素材・価格 (キュプラ or ウール)
- (3)エンブレム (襟章 or エンブレム)

【投票の対象者について】

(案) 令和7年4月に新しい制服を着用することとなる現在5年生以下の児童と保護者
→低学年の児童が評価するのが難しいので、保護者と児童(複数いた場合でも)を合
わせて1票(各家庭で1票)とする

(例) 保護者に現在5年生と2年生の児童がいた場合でも1票(各家庭1票)

→事前にお子さんと相談の上、授業参観の時に保護者(出席者)に投票していただく。

※展示会での投票結果を基に、第8回総務分科会で制服を決定していく。

※投票の対象者についてご意見をお願いします。

⑥エンブレムデザインの作成

作成方法の案について

(案) 事業者からの複数デザインの中から決定する

→展示会の際に、制服と一緒に投票していただくことも可能。

ボタンデザインは、制服やエンブレムに合わせて事業者に依頼する。

⑦夏服について

夏服は、ポロシャツと夏用のスラックス・スカートが該当する。現在、夏の時期は、
体操服での通学を認めている。

**※夏服を作成するかどうか。また、作成する場合、着用(購入)については、各家庭に
任せるといふことでよいか。**

【ポロシャツ】

事業者から、別紙のとおり紺と白のポロシャツを提案いただいた(別紙1)。

※どちらでも自由に購入でき、制服に合わせて着用できるということによいか。

【スラックス・スカート】

基本的に、通常のスラックス・スカートと色や意匠が同じものとなるため、制服の決
定後に同じ意匠のスラックスを作成する。

(2) 校章デザインの公募結果について

①募集期間

令和5年10月16日(月)～令和5年12月15日(金)

②応募資格

不問

③応募件数

217件

参考：真壁地区学校の校章			
谷貝小学校	樺穂小学校	桜川中学校	桃山学園
			

(3) 校章デザイン審査要項（案）について

真壁学園義務教育学校 校章公募審査要項（案）

真壁地区学校統合準備委員会 総務分科会

真壁学園義務教育学校の校章公募にかかる審査は、この審査要項に従って行う。

1. 審査の基本方針

校章の審査においては、募集要項に従って、応募のあった校章の案（以下「作品」という。）について、谷貝小学校、樺穂小学校、桜川中学校、桃山学園の歴史と伝統を引き継ぐ真壁学園義務教育学校の校章の案としてふさわしい作品3点を選出することとする。

2. 審査基準

審査は、以下の基準に従って行う。

- ①歴史や伝統、地域性など、学校の姿を表現するものであること
- ②学校の掲げる教育目標を表現していること（新しい学校のものは今後検討。）
 - 谷貝小学校：自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童の育成
 - 樺穂小学校：自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童の育成
 - 桜川中学校：自ら学び、心豊かに、たくましく生きる生徒の育成
 - 桃山学園：自ら学び、共に未来を創る人材の育成
- ③実際の使用状況を勘案して使いやすいものであること

3. 審査の方法

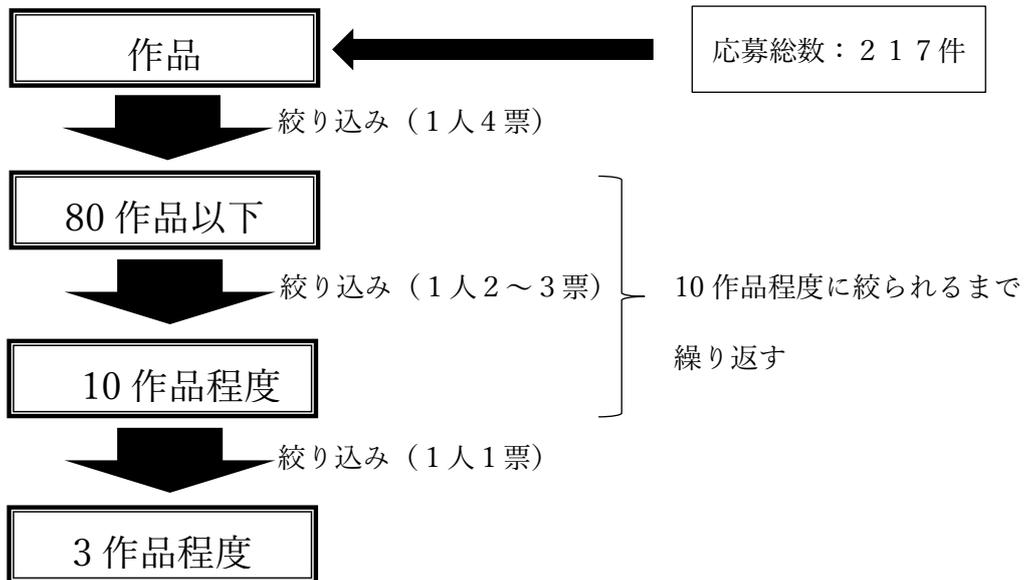
審査方法については、以下のとおりとする。

- ①審査は、「真壁地区学校統合準備委員会 総務分科会」で行う。
- ②審査会の長は総務分科会長とし、審査会を総理する。
- ③審査は、応募された作品を審査会場に掲示し、実施する。その際には応募者の情報は掲示しない。
- ④審査においては、分科会委員による投票により選出を行う。投票は、採用候補となる3作品が選出されるまで行われる。
 - ・審査員一人当たり複数票（第1回投票：1人4票程度、第2回投票以降：3～2票候補数により一人当たりの票数を調整）で行い、10案以下程度になるまで行う。
 - ・10案以下に絞り込んだ時点で投票（1人1票）を行い、3作品まで絞り込む。
 - ・各投票の過程においては、必要に応じて協議を行う。

※3作品とする理由

- ・選ばれた作品に問題があった際（応募デザインが他者の作品の模倣であった、自作のものではなかったなど）に選定作業のやり直しが必要になるため。

【審査のイメージ】



4. 校章の決定

校章候補の決定については、以下のとおりとする。

- ①この要項により審査し、選出された作品3点を真壁学園義務教育学校の校章候補の案として桜川市教育委員会へ推薦する。
- ②推薦された校章候補3作品の中から桜川市教育委員会で1作品を選定し、校章として決定する。

5. 賞品

この公募における賞品の贈呈は、桜川市教育委員会の承認により校章が決定された後、当該作品の応募者1名を最優秀賞受賞者として5万円相当の賞品を贈呈する。

6. 結果発表

審査結果については、以下のとおり発表する。

- ①最優秀賞作品については、桜川市広報、桜川市ホームページ、真壁地区学校統合準備通信にて発表する。
- ②最優秀賞受賞者については、本人の同意が得られた場合に限り、氏名等を発表する。

※校章公募審査要項（案）について、ご検討をお願いします。

(4) その他

—学童について—

①現在の学童クラブの利用者数

学校名	谷貝小学校	樺穂小学校	桃山学園
利用者数	約 40 人	約 40 人	約 140 人
利用教室数	1 教室	1 教室	3 教室

②学童クラブの方針（案）

学校の統合に合わせて、谷貝小と樺穂小の学童クラブを桃山学園の場所に統合する。

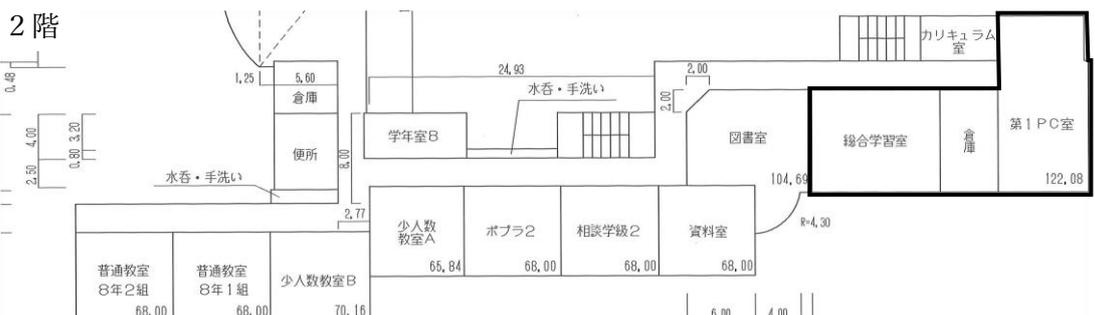
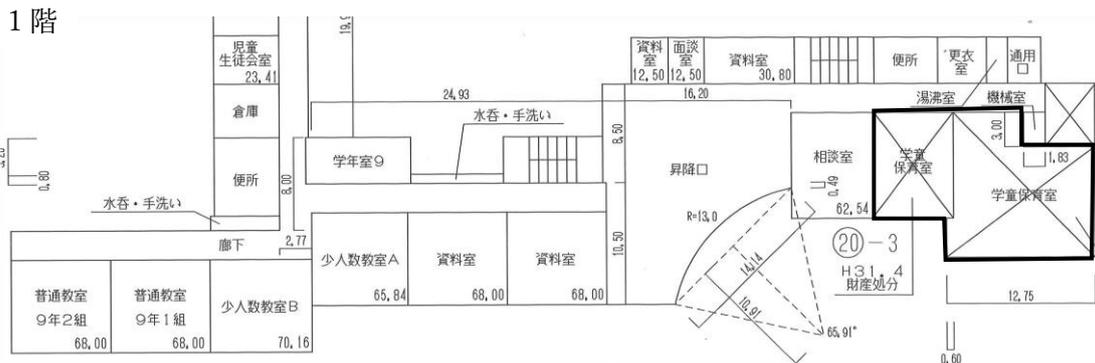
【理由】

- ・現在、桃山学園の後期課程の1階を利用して、学童クラブを運営している。
- ・桃山学園に学童クラブを統合することで支援員の配置が容易となり、運営の効率化が図れる。
- ・現在と同じ場所で学童クラブを運営した場合、学童クラブ以外は、学校が無人となるので安全管理上相当の問題がある。
- ・桃山学園と学童クラブについて調整したところ、後期課程2階にある第1PC室と総合学習室を学童クラブとして使うことができるとあった。

【課題】

- ・トイレが少ないことやセキュリティなど学校施設の関係。
- ・人数が増えることによる駐車場の管理や整理。

※ご意見がありましたら、お願いします。



—校歌について—

- ・校歌については、以前の総務分科会で桃山中学校の校歌を利用することとなった。
- ・桃山中学校の校歌を利用する際、歌詞に「中学校」の言葉があるが、学校名が「真壁学園義務教育学校」となるため、別のフレーズが必要となる。

【事務局案】

「中学校」を「学び舎は」に変更する。

⇒校歌の歌詞を大きく変える場合、編曲や補作詞の必要があり時間がかかることから、「中学校」の言葉のみを変更していく。

三	二	一	桃山 中学校校歌
朝日の昇る 若き春 胸には燃ゆる 勤労と 協和と自治と 礼節に 明るき道を 踏みゆかん われらの理想 この光	松らい清く 奏でつつ 紫匂う 文化の地 豊けき郷の 桜川 真理の泉 ここに汲む われらの希望 この力	筑波の麓 桃山に 輝き立てる 中学校 遙かに富士を 望みつつ 関東平野 見はるかす われらの母校 この誇り	作曲 白鳥 省吾 作詞 岩井 清志

—通学バックについて—

- 以前の分科会で、通学バックを背負って登校する場合の安全性について、質問あり。
- ⇒メーカーに問い合わせいたいたところ、仮に背負う場合は、教科書類が縦に固定され、またチェストベルトがあるため、安定しやすいといった回答あり。(別紙2のとおり)
- ⇒校章を入れるかどうか。

性別に関係なく
色や組み合わせは自由！



透け防止素材

白でもインナーが透けないので安心して着用できます。



襟元

上までボタンを留めることができるため、フォーマル性を高めます。

ポロシャツ

混率 | ポリエステル100%

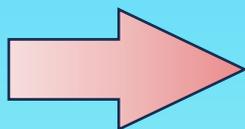
- POINT 1** 驚くほど軽い
- POINT 2** 高いUVカット率
- POINT 3** 安心の透け防止



1BOXスクエア型リュック

別紙2

のご紹介



既存商品
横型3WAYバッグ
容量約20ℓ



ご採用商品
スクエア型リュック
容量約27ℓ

- 撥水性が高い生地を使用。多少の雨であればはじきます。
- 収納量がUP。更に広い間口で内部全体が見やすくなっています。
- 内ポケットにはウレタンを内蔵。
タブレットなど収納時、衝撃から多少軽減されます。
- メッシュ生地を使用したサイドポケット付き。水筒など濡れた物、濡れそうな物と教材を別々に収納できます。



- 背面にはパスケース入れがあり、
鍵などの貴重品入れとしても使用できます。
- 背負いベルトには写真の「チェストベルト」付、
背負った時にかかる体の負担を多少軽減できます。

